

伝統芸能

冬  
号

# 日本の祭り

奈良県 奈良市  
「春日若宮おん祭」



秋田県 男鹿市  
「なまほし柴灯祭り」



出かけよう!! 「静」と「動」と「魂」の祭典に!

長野県 野沢温泉村  
「野沢温泉の道祖神祭り」



福井県 勝山市  
「勝山左義長まつり」



日本には心に染みる「静」の祭りと熱気あふれる「動」の祭りがある。  
伝統芸能には先史の良き時代から大切に継承された「魂」がある。

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



日本の祭りには胸が高鳴る「興奮」とほのぼのとした「安らぎ」があり、伝統芸能には太古より受け継がれた栄華の「命」がある。



**実施日**  
毎年11月2日～4日  
今年は11月2日(土)～4日(月・振休)

佐賀県 唐津市 **唐津くんち**

**実施日**  
古代鉄歌謡館にて  
毎月第2土曜日(6月除く)  
毎月第4土曜日(1～3月除く)

島根県 雲南市 **出雲神楽** (イメージ)

2 11月 / 唐津くんち P3

1 11月 / 防府天満宮御神幸祭 P3

**実施日**  
毎年11月第4土曜日  
今年は11月23日(土)

山口県 防府市 **防府天満宮御神幸祭**

12月15日～18日 / 奈良市「春日若宮おん祭」

10 通年 / 淡路人形浄瑠璃 P6

6 通年 / 出雲神楽 P4

9 奄美の島唄(喜界島) P5

**実施日**  
毎年12月第2日曜日とその前日  
今年は12月7日(土)～8日(日)

埼玉県 小鹿野町 **鉄砲まつり**

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

**実施日**  
淡路人形座にて  
毎日5回公演

兵庫県 南あわじ市 **淡路人形浄瑠璃**

- 3 1月 / 下北の能舞 P3
- 7 2月 / なまはげ柴灯祭り P5
- 4 1月 / どんと祭 P4
- 5 1月 / 野沢温泉の道祖神祭り P4
- 8 2月 / 勝山左義長まつり P5

CONTENTS 目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 ..... P1・P2
- 1 防府天満宮御神幸祭 ..... P3
- 2 唐津くんち ..... P3
- 3 下北の能舞 ..... P3
- 4 どんと祭 ..... P4
- 5 野沢温泉の道祖神祭り ..... P4
- 6 出雲神楽 ..... P4
- 7 なまはげ柴灯祭り ..... P5
- 8 勝山左義長まつり ..... P5
- 9 奄美の島唄(喜界島) ..... P5
- 10 淡路人形浄瑠璃 ..... P6
- 地域伝統芸能活用センターよりご案内 ..... P6

山口県 防府市 **防府天満宮御神幸祭** 山口県 防府市

毎年11月第4土曜日  
今年11月23日(土)



**西日本屈指の荒祭!!**

学問の神様菅原道真公を祀り、京都の北野天満宮、福岡の太宰府天満宮とともに日本三天神として知られ、また、日本で最初の天神様といわれる防府天満宮。その防府天満宮の大祭として、また西日本屈指の荒祭りとしても有名なこの祭りは、道真公が太宰府へ下る途中、当地へ立ち寄られた際の送迎の古式を伝えたものです。

天満宮でもっとも大きく今年で1010回目を迎えるこの祭りでは、寒空の下、御神体を奉じた御網代(おあじろ)を白装束姿の裸坊数千人が、「兄弟ワッショイ」のかけ声も勇ましく、二体のお神輿をかつき菅公上陸の地とされる勝間の浦の御旅所まで練り歩く長蛇は、まさに壮観です。

**アクセス** 電車：山陽新幹線「新山口駅」から、JR山陽本線「防府駅」にて下車

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



防府市観光協会  
<http://www.kanko-hofu.gr.jp/>

佐賀県 唐津市 **唐津くんち** 佐賀県 唐津市

毎年11月2~4日  
今年11月2日(土)~4日(月・振休)



**日本三大くんちのひとつ「唐津くんち」**

唐津くんちは唐津神社の秋祭りで、刀町の一番ヤマ「赤獅子」から十四番ヤマ「七宝丸」まで、いずれも勇壮華麗な14台の曳山が市内を巡行します。高さ7メートル余り、重さ2~3トン、漆で美しく塗られ金箔で仕上げられた極彩色豊かな曳山を、揃いの法被姿に身を固めた曳子数百人が威勢よく市内を曳き回すさまは、まさに現代の絵巻物です。

2日「宵ヤマ」では、提灯の灯りに照らされた幻想的な曳山を見物することができます。3日「御旅所神幸」では、御旅所での「曳き込み」では、轆も深く砂地に入り込む曳山を、西の浜明神台前に整列させます。4日「町廻り」は最終日とあり、曳子は最大の力をふり絞りながら曳き、祭はフィナーレを迎えます。

**アクセス** 電車：JR「唐津駅」より徒歩10分  
車：長崎自動車道「多久IC」より約40分  
九州自動車道「福岡IC」より都市高速等利用で約60分

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



唐津観光協会  
<http://www.karatsu-kankou.jp/event1.html>

青森県 東通村 **下北の能舞** 青森県 東通村

毎年1月中旬  
2014年は1月中旬予定



**国の重要無形民俗文化財に指定!!**

能舞は、典型的な修験能であり、鎌倉時代末にその骨格が形成されたといわれています。東通村には、今から、500年以上遡った頃、修験者がもたらしたものであり、その行法を基調としつつ、猿楽・曲舞など中世の諸芸能を取り入れて創り出されたといわれています。今もその面影を強く残し、日本演劇史上極めて貴重な芸能であることから、平成元年3月20日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

能舞は村内14集落において演じられ、正月には、集落内の毎戸を門打ちして悪魔退散、家内安全の祈禱をして回り、能舞披露は、各集落ごとに正月3ヶ日及び小正月の夕方から深夜に到るまで各集落で開催されます。毎年1月中旬に各集落で伝わる郷土芸能を一同に会し、村体育館において東通村郷土芸能保存連合会発表会が開催されます。

東通村ホームページ  
<http://www.vill.higashidoori.lg.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



**アクセス** 電車：JR「下北駅」より車で約30分  
車：「百石下田IC」より車で約1時間30分  
バス：むつバスターミナルより「東通村庁舎行き」25分

宮城県  
仙台市

# どんと祭



実施日

毎年1月14日  
2014年は1月14日(火)予定

## 一年の無病息災・家内安全を祈願する祭

大崎八幡宮においては「松焚祭(まつたきまつり)」といいますが、一般的には「左義長(さぎちょう)」、又はその火の勢いから「ドンド焼き」等とも呼ばれております。松焚祭は三百年の歴史を有す、全国でも最大級の正月送りの行事です。正月飾りや古神札等を焼納する正月送りの行事です。一月十四日の夜、境内の一角に近郷近在より持ち寄られた門松・注連縄・松飾り等は日没の頃「忌火」により点火され焚き上げられます。この火は正月の間に各家庭に訪れていた神々を送る「御神火」として、あたる心身が清められ、一年間無病息災・家内安全の加護を得るといふ言い伝えがあります。また、この「御神火」を目指して参拝する「裸参り」があります。これは厳寒時に仕込みに入る酒杜氏が醸造安全・吟醸祈願のために参拝したのが始まりとされます。白鉢巻き・白さらしを巻き、口には私語を慎む為に「含み紙」と呼ばれる紙をくわえ、右手には鐘・左手に提灯を持ち、市内各所より数千人が参拝するさまは、杜の都・仙台の冬の風物詩として全国に知られております。尚、平成17年度には仙台市の無形民俗文化財にも指定されました。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車・バス：JR「仙台駅」から仙台市営バス「大崎八幡宮前」下車

大崎八幡宮

<http://www.okos.co.jp/oosaki/>

長野県  
野沢温泉村

# 野沢温泉の道祖神祭り



実施日

毎年1月15日  
2014年は1月15日(水)

## 日本三大火祭りのひとつ

毎年1月15日に行われるこの祭りは、野沢温泉を代表する野沢組惣代が総元締めとなり経験者の中から選ばれた山棟梁と社殿棟梁などの役員の指揮のもと「三夜講」と呼ぶ厄年の男たちが祭りを執行します。祭りの中心となる社殿はブナの大木で造られ、この社殿に火をつけようとする村民とそれを防いで守る25歳の厄年の火の攻防が見ものです。

またこの祭りでは子供の健やかな成長を願って初灯笼が奉納されます。この灯笼作りは、灯笼棟梁の指揮に従って親戚や友人たちが集まって作られ、火祭りの攻防戦の末、社殿が最高潮に燃え上がったときに燃やします。この祭りで厄年行事を勤めることにより、初めて村の大人の仲間入りができ一人前として認められるとともに村民一丸となるお祭りです。そして日本を代表する道祖神行事の一つとして平成5年12月13日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



アクセス

電車：JR「長野駅」より野沢温泉行き急行バスで1時間15分  
JR飯山線「戸狩野沢温泉駅」より野沢温泉行き路線バスで約15分  
車：上越自動車道「豊田飯山IC」から国道117号経由で約25分

野沢温泉観光協会

[www.nozawakanko.jp/spot/dousozin.php](http://www.nozawakanko.jp/spot/dousozin.php)

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

島根県  
雲南市

# 出雲神楽



実施日

毎月第2土曜日(6月除く)  
毎月第4土曜日(1~3月除く)

## 人と神をつなぐ、伝統芸能!!

日本最古の歴史書といわれる「古事記」に残るスサノノミコトによるヤマタノオロチ退治は、雲南市内を流れる斐伊川流域がまさにその舞台となってます。オロチが棲んでいたとされる「天が淵」、オロチの尾を開いて「草薙剣(くさなぎのつぎ)」を得たとされる場所、退治したオロチの八つの頭を埋め、八本の杉を植えたとされる「八本杉」。スサノノミコトとクシナダヒメが造ったとされる「日本初之宮 須我神社」など、市内のいたるところに数多くの伝説地が残っています。出雲神楽は、出雲地方(島根県東部)に伝わる伝統芸能であり、神話や伝説を題材としているのが特徴です。神話が伝わる地で鑑賞する神楽は格別で、金襴錦の衣装の荘厳な姿、古雅荘重な奏楽と、それに乗って舞う優雅入神の妙技は観覧者を惹きつけて放しません。

雲南市内には現在、17もの神楽社中があり、出雲神楽は地域の郷土芸能として脈々と受け継がれています。雲南市大東町の「古代鉄歌謡館」では、毎月第2・第4土曜日を中心に、出雲神楽の定期上演が行われています。



アクセス

車：松江自動車道「三刀屋木次IC」から約20分

雲南市産業振興部商工観光課

<http://www.unnan-kankou.jp/kagura/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

秋田県 男鹿市 **なまはげ柴灯祭り** 

実施日 毎年2月第2金・土・日曜日  
2014年は2月7日(金)～9日(日)

**「泣あく子はいねえがー!悪い子はいねえがー!」**

みちのく五大雪まつりのひとつ「なまはげ柴灯まつり」は、神事「柴灯祭」と民俗行事「なまはげ」を組み合わせた冬の観光行事です。昭和39年に始まり、毎年2月の第2金・土・日曜日の三日間、秋田県男鹿市にある真山神社を会場に行われます。

メインイベントの「なまはげ下山」では、雪が舞う中、松明を翳したなまはげが闇の中から現れ雪山から降りてくる勇壮な姿が幻想的で見る者を魅了します。他にも「なまはげ行事再現」や各地域の特色豊かななまはげを紹介する「里のなまはげ」、山伏神楽である番楽にあわせてなまはげが舞う「なまはげ踊り」やなまはげが勇壮に和太鼓を打ち鳴らす「なまはげ太鼓」など、「男鹿のナマハゲ」を間近で観ることができます。



アクセス 電車：JR男鹿線「男鹿駅」より臨時有料バス(予定)で約50分  
車：秋田自動車道「昭和男鹿半島IC」から国道101号を経由し、なまはげラインを真山方向へ車で35km

男鹿市役所  
<http://www.city.oga.akita.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

福井県 勝山市 **勝山左義長まつり** 

実施日 毎年2月の最終土・日曜日  
2014年は2月22日(土)、23日(日)

**祭りのフィナーレは「ドンド焼き」**

勝山市の「左義長」は小笠原公入部以来300年以上の歴史を誇っております。市街地の各町内に12基の櫓を建て、その上で赤い長襦袢姿の大人たちが子供を交え、独特のおどけ仕草で三味線、笛、鉦による軽快なテンポの囃子によって浮かれます。この様は全国で「勝山左義長」だけの特徴であり、人々はこれを奇祭と呼んでいます。

日曜日の夕方、各町内の御神体が弁天河原に運び込まれ、「ドンド焼き」の準備が進められます。午後8時30分、神明神社で採火した御神火が各区の松明によって、弁天河原のドンド焼き会場に運ばれ9時の狼煙を合図に一齐に点火され祭りのフィナーレを迎えます。この「ドンド焼き」で神を送り、五穀豊穡と鎮火を祈願します。左義長が終わると奥越前にも春が訪れると言われています。



アクセス 電車：JR「福井駅」から、えちぜん鉄道勝山永平寺線に乗り換え「勝山駅」下車。会場まで徒歩約10分  
車：北陸自動車道「福井北IC」から国道416号線を勝山方面に約30分

勝山市商工観光部 観光政策課  
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/kankou/sagityo/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

鹿児島県 喜界町 **奄美の島唄(喜界島)** 

島唄は奄美のころ

奄美の島々は、どこの支配にも属さない自由独立の「アマンユー(奄美世)」の時代から琉球王朝服属「ナハ世」の時代、薩摩藩政下「ヤマト世」の時代そして戦後米軍統治下の時代と幾多の歴史の変遷を遂げて来ました。そうした時代背景の下に民衆の中で生れ育まれてきたのが「奄美のシマ唄」です。「シマ」とは「島」であり「集落」であり地域的にも多様性に富んだものとなっています。最大の特徴は裏声でしょう。哀調を帯びた三味線の旋律に乗って島唄が音域を遥かに超えた裏声で表現されるとき、聴く者の心の奥深くに響き、魂を激しく揺さぶります。島内外の島唄大会では多くの人々が集まり交流を深め、地域の活性化や観光面等への寄与は絶大です。奄美の人々にとって島唄は様々なイベントにおける不可欠かつ中核的なものでもあります。

実施日 例年2月：島唄・シマゆみた大会 例年6月：しま興し祭り  
例年7月：奄美芸能島唄研究会 例年8月：喜界町夏まつり(喜界島最大のイベント)  
例年8月：サマーフェスタ 例年10月：地域文化祭

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス 空路：JAC喜界島空港(羽田～奄美～喜界島他) 船：マルエーフェリー(株)(鹿児島～喜界島)

喜界町役場企画課内(夏まつり協賛会事務局)  
<http://www.town.kikai.lg.jp>

兵庫県 南あわじ市

あわじ にんぎょうじょう り

# 淡路人形浄瑠璃

淡路人形座にて  
毎日5回公演(水曜日は4回)



## 全国に広がった淡路の人形芝居

五百年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形芝居の由来は色々な説がありますが、鎌倉時代、淡路島に大阪四天王寺より舞楽など神事を生業とする楽人が移り住み、その後西宮の戎神社に属したエビスカキから人形操りの人気が高かったため神事を人形操りで行うようになったと考えられています。漁の安全と恵みを祈るものとして、また、家、土地、船を守り、神を讃える神聖な季節の行事として定着し、昭和初期までは、門付けの三番叟や戎舞が淡路の各家を回り神棚の前で幸せを祈っていました。最盛期の18世紀初めには40以上の座本が覇を競い、人形役者が千人もおり淡路島のみならず日本全国を巡業し、各地に人形芝居を伝えました。大阪に出て「文楽」を創始した植村文楽軒も淡路出身です。文楽と異なり野掛け舞台だったため大きな人形、大きな動作となり、時代物を得意とし、早替りや道具返し、衣装山など淡路独特の演出や演技も派手でケレン味が尊ばれ、気軽に楽しめるという人形芝居本来の雰囲気を残した外題も多く、女性の座員も活躍する舞台は華やかです。

12月14日(土)～15日(日)「第13回全国人形芝居サミット&フェスティバル」開催します。

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス  
車：神戸淡路鳴門自動車道「西淡三原IC」より車で15分  
バス：福良バスターミナル下車すぐ

淡路人形座  
<http://www.awajiningyoza.com/>

## 地域伝統芸能活用センターよりご案内

地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会いしかわ」

# 日本の祭り in 石川 2013

日本の文化を  
「いしかわ百万石物語」とともに

平成25年  
**10月5日(土)・6日(日)**

入場無料  
石川に集結  
全国の祭りが

メイン会場／本多の森ホール  
サブ会場／県立音楽堂、金沢城公園

題字：菊池錦子氏

**サブ会場**  
(金沢城公園)

キッコ等展示(イメージ)

**伝統工芸の実演・展示**  
(伝統芸能の道具・衣装の展示等)

伝統工芸実演(イメージ)

**観光物産イベント**  
(県内市町観光PRコーナーなど)

観光物産販売(イメージ)

## 同時開催イベント

- 日本の祭り絵展
- 兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク



# 豊かな街づくりに 役立つ宝くじ。

宝くじの収益金は、図書館や  
動物園、学校や公園の整備を  
はじめ、少子高齢化対策や  
災害に強い街づくりまで、  
いろいろなかたちで、みなさまの  
暮らしに役立てられています。



 財団法人 **日本宝くじ協会**

財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する  
事業への助成を行っています。 **日本宝くじ協会ホームページ** <http://jla-takarakuji.or.jp/>

